

KIZUNA

通 信

発行：公益社団法人福島県柔道整復師会



第27回公益社団法人福島県柔道整復師会旗争奪 少年柔道大会が相馬市で開催されました

平成28年4月24日（日）午前9時30分から相馬市スポーツ相馬アリーナにて公益社団法人福島県柔道整復師会主催による第27回となる、少年柔道大会が開催されました。

同時に、第5回公益社団法人福島県柔道整復師会少年柔道形競技会が、開催されました。

この大会は、第25回文部科学大臣杯争奪日整全国少年大会、第6回文部科学大臣争奪日整全国少年柔道形競技会の予選選考会を兼ねた大会です。

9時30分から開会式が行われ、当会遠藤寿之会長挨拶に続き、立谷秀清相馬市長、福島県柔道連盟木村三樹郎会長のご祝辞、前年度優勝チーム内郷柔道塾主将遠藤康介君の元気な選手宣誓がありました。

10時から形競技が始まり7チームが参加し、須賀川市石背柔道スポーツ少年団（取関根新大君、受加藤颯野君）が、見事な演武を披露し優勝（昨年の優勝に続き）しました。準優勝は安積柔道スポーツ少年団（取鈴木壮真君、受松本峻君）、第3位に相馬市柔道教室（取佐藤真那斗君、受坂下琉翔君）が入賞しました。

続いて、少年柔道大会が1ブロック3チーム総当たりの予選が始まり、ブロックを勝ち上がった7チームによる決勝トーナメント戦が行われました。熱戦が繰り広げられる中、決勝に勝ち進んできた内郷柔道塾と郡山市柔道会は、一進一退の攻防の結果3対1で内郷柔道塾が制覇しました。昨年の決勝と同じ組み合わせとなりました。結果は次頁の通りです。

優 勝：内郷柔道塾

準優勝：郡山市柔道会

第3位：二本松柔道スポーツ少年団：飯坂柔道スポーツ少年団

第24回 東北少年柔道大会

第37回 東北ブロック会柔道大会

第5回 東北少年柔道形競技会



平成28年7月23日(土)秋田市にある秋田県立武道館に於いて開催されました。東北6県の代表16チーム(秋田6チーム)が集い、予定通り9時00分から開会式が始まりました。昨年の東北大会優勝チーム秋田県代表の雄武館山中道場の優勝杯の返還もあり、熱気溢れる大会でした。

内郷柔道塾は、開会式終了後、第一試合場で、高橋道場(山形県)、時習館(岩手県)、北林道場(秋田県)に4勝1敗、3勝1敗、4勝1敗で3連勝し予選リーグ1位で勝ち上がり、同じく郡山市柔道会は、第二試合場で、角館柔人クラブ(秋田県)、若柳柔道スポーツ少年団(宮城県)、鶴田町柔道少年団(青森県)に3勝1敗、1勝1敗、1勝1敗で1勝2分と善戦しましたがリーグ2位で敗退しました。

内郷柔道塾は、準決勝で鶴田町柔道少年団を4勝1敗で下し、決勝に臨みましたが、雄武館山中道場(秋田県)に、3敗して敗れましたが、準優勝に輝きました。

優勝は、雄武館山中道場(秋田県)、準優勝内郷柔道塾スポーツ少年団、第3位に小中野道場(青森県)、鶴田町柔道少年団(青森県)でした。

同時に第三試合場では、30歳代松浦毅弘会員が、1回戦で高橋良幸会員(山形県)に臨むも惜しくも敗退しました。40歳代小松孝行会員は、1回戦で飯野勝幸会員(宮城県)と戦うも惜敗しました。

形競技会は、少年柔道大会及びブロック会柔道大会が終了した12時20分頃から、第三試合場で行われ、3組目に競技した藤崎町柔道スポーツ少年団[取高谷駿・受佐藤悠功](青森県)が優勝、準優勝が高橋道場[取海和遥斗・受海和健斗](山形県)、第3位に朝日町柔道スポーツ少年団[取佐竹萌・受若月真都偉](青森県)が入賞し、第5回日整全国少年柔道形競技会に出場します。本県代表の安積柔道スポーツ少年団、石背柔道スポーツ少年団は残念ながら入賞には至りませんでした。



資格名に「柔道」、なぜでしょう

公益社団法人北海道柔道整復師会会長 萩原正和

「はじめまして。柔道整復師の萩原正和です」。自己紹介をすると、一体どんな仕事なのかと質問される。柔道整復師は、医師や看護師と同じ医療に携わる国家資格で、日本古来の伝統医療だが、整骨院・接骨院・ほねつき（以下整骨院と総称）を開業していると言った方が一般に理解されやすいようで、認知度の低さを感じる場面が多い。

柔道整復師＝整骨院の先生とわかると、なぜ柔道という言葉が資格名につくのか、と質問はさらに続く。

我々の資格は柔道とは表と裏の関係だ。日本古来の武術の一つである柔術には、相手を殺傷する「殺法」と、傷ついた人を治療して蘇生させる「活法」がある。柔術の殺法は発展の結果、オリンピック種目であるスポーツ柔道となり、活法はけが人を治療する「整骨」、つまり柔道整復術となった。

スポーツにけがはつきもの。昔は整骨院に柔道場が併設されていた所が多く、柔道整復師は開業の傍ら柔道を教えていたようだ。

これで、ようやく私の資格についてご理解いただけたかと思う。「私は整骨院の3代目院長で……」と続けたいところなのだが、まだまだ質問は続くだろう。

なぜなら、「整骨」と「整体」とを、多くの人々が混同しているからだ。名前は似ているが全く違う。決定的なのは国家資格か否かという点だ。

整骨を掲げる柔道整復師の行う施術は柔道整復術と呼ばれ、国家資格者が行う。国家試験を受けるためには文部科学相の指定した学校か厚生労働相の指定した柔道整復師養成施設で、柔道整復学・解剖学・生理学・病理学・一般臨床医学など13科目以上、実技を含めて3年以上の勉強を積まなくてはならない。

一方、整体は民間資格だ。個人または団体が整体の資格の了承をすれば、整体師と名乗ることができる。どれくらいの期間にどんな科目を勉強するのかは団体・個人により差があり、根拠が不明な場合もある。同じく民間資格のカイロプラクティックも整体と同じことがいえる。

日本古来の伝統医療であるのに認知度が低い柔道整復師という資格と仕事について、読者の皆さんに少しでも理解をしてもらえればうれしい。



知って
ますか!

接骨院・整骨院のかかり方

健康保険が使えるものと使えないものがあります

保険が使えるもの

ケガや原因のある痛み

- 日常生活やスポーツで、捻挫したり打ったりして、負傷したとき
- 日常生活やスポーツで、同じ動作の繰り返しや間違った動作によって、負傷したとき
- ◎ 接骨院や整骨院で、骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷（肉ばなれ）と判断されたとき（骨折、脱臼は応急処置を除き、医師の同意を得ることが必要です）
- ◎ 急性、亜急性の骨・筋肉・関節のケガや痛みで、原因のはっきりしているとき



保険が使えないもの

病気や原因不明の痛み

- 日常生活での単なる肩こり、筋肉疲労、体調不良
- 神経痛、リウマチ、ヘルニアなど慢性の病気
- 脳疾患の後遺症などの慢性病
- スポーツなどの肉体疲労からの回復目的
- 工作中的のケガ（労働災害等の適用）
- 病院や診療所などで、同じ負傷を治療されている場合



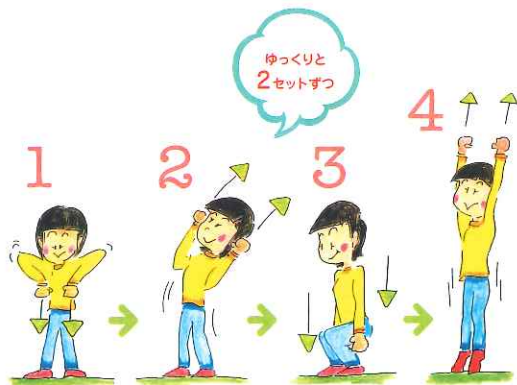
原因をはっきり伝えてください

健康柔体操 両手突き

現在の競技柔道の中にはみることにはできませんが柔道の源流をたどれば拳や掌・肘や膝・かかとや足など身体のあらゆる部位を攻撃に使用する技があります。精力善用国民体育という形にはそのような技をアレンジした動きが多くみられます。健康柔体操ではそれらを更に優しくアレンジ組み合わせで行っています。

Let's Try やり方

この両手突きはイラストのように4つの方向に両手突きを入れながら身体を動かしていきます。



1. 前下突は身体を前に曲げながら膝は曲げずに突きます。
2. 後突は上体を反らして突きます。
3. 両手下突は脇を開いて下に向けた両拳を膝を曲げながら突きます。
4. 両手上突は背伸びをしながらかかとを上げて真上に突きます。いずれも息を吐きながら4つの動作をゆっくりと2セット行ってください。

この運動の効果

両手を4つの方向に突くことにより肩甲骨がさまざまな動きをしてくれます。肩や頸周囲の筋肉の代謝が良くなり肩こりや緊張をとります。膝の曲げ伸ばしにより、太ももやふくらはぎの筋肉を強化していきます。とても簡易な運動ですが全身運動になります。

編集後記

KIZUNA 通信も第5号となり、1つのパターンができあがりでしたが、皆様のご意見・ご感想をお聞きしながら良い新聞を作っていきたいと思えます。